



## 渡辺拓大学長が特別講義 インドネシア高校生82人招き

昨年1月の東アジア首脳会議(サミット)で日本が表明した「21世紀東アジア青少年大交流計画」により、日本に招待されたインドネシアの高校生82人が2日、東京都文京区の拓殖大学で渡辺利夫学長の特別講義を受けた。写真。

渡辺学長は「日本は謙讓の美德が生きている世界でもまれな同質社会」だとし、明治維新で近代国家に变身しようとしたときに、国民が一丸となって日本の発展を支えたと指摘。半面、「日本人は外国人との付き合いが下手で英語能力が低い」と述べた。

また、多民族国家であるインドネシアの社会と日本とは大きく異なっているが、両国民が「相互の文化の違いを勉強し、尊重し合うことが一番重要なことだ」と強調した。

高校生からは「日本が発展した理由は何か」「日本のような規律正しい社会になる方法は」といった質問が寄せられた。

大交流計画は当時の安倍晋三首相が表明。東南アジア諸国連合(ASEAN)諸国や中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランドから5年間、毎年約6000人の青少年を日本に招く計画。